

社会科 学習の手引き

1. 社会科の学習について

社会科を学ぶ目的は、社会科を学ぶことによって広い視野に立ち、社会に対する関心を高めるとことにあります。そして、そこから物事を多角的・多面的に考え、直面する問題に対処できる日本の一公民としての資質を養い、激しく移り変わる国際社会に立派に生きていく人物となってってもらいたいと考えています。

1, 2年生では週3時間の配当で地理的分野・歴史的分野の2つを、3年生では週4時間の配当で歴史的分野と公民的分野を学習していきます。よく社会科は覚えることが多くて苦手だという人がいますが、覚えることのみで終始してしまえば、社会はつまらない教科になってしまいます。世の中のことを専門的に勉強できることはとても楽しいことです。あせらずじっくりと学習を進めていきましょう。

2. 授業で準備するもの

歴史的分野－教科書 地図帳 ノート

地理的分野－教科書 地図帳 色鉛筆等の着色ができる道具 ノート

公民的分野－教科書 地図帳 ノート

※ 教材としては他に、徳島県の歴史読本、テストブックがありますが、これらは常時使いません。教科担当の先生の指示に従い使用します。

3. 学習の進め方

① 授業は第一である－よく、社会科は後で勉強すれば大丈夫と、授業をおろそかにする人がいますが、後でやれば・・・とか、家でやれば・・・などと考えるのはとても効率の悪いことです。授業に集中して臨みましょう。最も多くのことを吸収できるのは授業です。

② ノートを大切に！－ノートは、地理・歴史ではそれぞれ1冊ずつ用意してください。きちんと取ったノートは最も素晴らしい自分だけの参考書となります。先生の板書を丸写しするだけでなく、ポイントを書き込んだり、図を書き込んだり等の工夫をして取るようにしましょう。復習する時、テスト勉強の時はきっと心強い味方となってくれることでしょう。

③ 実力は復習で付く－社会科では特に予習は必要ありません。そのかわり、復習は必ず授業があったその日のうちにやりましょう。授業の感触が残っているうちにもう一度確認しておくことは想像以上に頭に残るものなのです。

④ テスト勉強は少なくとも2週間前から－最初の1週間は、テスト範囲の教科書を見直し、内容をまとめていきましょう。テスト1週間になったら問題練習に取り組み、弱点のチェックです。テスト前日は、統計や地図・資料の確認をしましょう。